

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるう

2018～2019年度

国際ロータリー会長 バリー・ラシン
2560地区ガバナー 川瀬 康裕
高田ロータリー会長 牧野 章一
幹事 佐藤 教彦

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

第25回例会 ■ 1月25日(金)

No.25

会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さまこんにちは。今週の月曜日、21日に大谷ガバナーエレクトが米国サンディエゴから帰国いたしました。今日は「国際協議会の研修」で得た興奮冷めやらぬ今の思いをお話させていただきます。私たちのインスピレーションとなる機会です。

今月は職業奉仕月間です。職業奉仕はロータリーの看板といわれます。それは他の団体にならぬ奉仕分野であり、クラブと会員個人の生き方に強く関わるものだからといわれています。具体的には「四つのテスト」です。

来月2月22日に職業奉仕委員会主催で関根学園高等学校を職場訪問します。建学の精神「輝いて生きる」。学びの多い訪問になると期待しております。学校で私たちのジョン君に会えることも楽しみです。

本日の卓話は、陸上自衛隊高田駐屯地 副群長 森杉 荘司様です。演題は「陸上自衛隊及び施設科職種の概要」です。ご清聴ください。

出席報告

出席率 94.74%

メイクアップ

本山秀樹君 (1/19 米山奨学生面接選考会)
神田和明君 (1/21 高田東 RC 卓話)
大谷光夫君 (1/28 高田東 RC 帰国挨拶)

委員会報告

出席ニコニコBOX委員会
大谷光夫君——サンディエゴ国際協議会に行つてまいりました。無事終了しました。
田中正人君——例会日と誕生日が重なりました。
国際奉仕委員会——ジョン君近況報告



会員インフォメーション

田中正人君——レルヒ祭のお知らせ
1/26～2/3 高田駅前通りアーケードに大町小学校6年生の描いたフラッグを展示します。

幹事報告

配布物：週報No.24・2019-20年度 RI 会長テーマ・ロータリーの友1月号
回覧物：陸上自衛隊高田駐屯地広報「妙高4号」・春の特別音楽講座チラシ

卓話

陸上自衛隊及び施設科職種の概要



【講師紹介】平成4年幹部候補生学校を経て平成5年第12施設群第335施設中隊(岩見沢)に着任。その後、施設科職種を歴任、平成16

陸上自衛隊高田駐屯地 第5施設群 副群長 森杉 荘司様

年には第1次イラク復興支援群施設隊長として海外勤務を経験。一線部隊から上級司令部で活躍され、平成30年12月高田駐屯地に着任されました。

1. 陸上自衛隊の概要

主たる任務は「我が国の防衛」であり、従たる任務は「公共の秩序維持」ですが、我が国を取り巻く環境、地理的環境からして厳しい局面にあります。特にアジア・太平洋地域の安全のため共同訓練や防衛協力といった国際的にはグローバルな対応が求められところです。こうしたことから平成30年3月、自衛隊の体制改革、新編がなされました。

2. 施設科職種の概要

戦闘職種、戦闘支援職種で16職種（職群）がありますが、主要な活動は①陣地・障害構築、障

害処理、渡河・交通路確保、建設 ②災害派遣における活動では、これまでに東日本、御嶽山、九州豪雨、西日本豪雨時に参加しています。また、③国際平和協力活動では、カンボジアにはじまり東ティモール、ハイチ、南スーダンなどで道路建設・災害時の技術指導を行っています。

3. まとめ

時代の変化に的確に対応し、我が国防衛の「最後の砦」として、自衛隊は、日々精進してまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします。

大谷ガバナーエレクト『変化のために柔軟性、多様性を駆使したい』



サンディエゴの国際協議会（1/13～1/19）に参加し、21日帰国しました。…『ちょっとスリムになりました』と、25日の例会



で早速、帰国報告。今後の抱負も発表されました。

1. 世界538地区のガバナーエレクトと配偶者および家族で1,200名の参加。日本の参加は34地区でした。
2. 本会議7回、分科会9回でかなりハードな会でしたが、国際晩餐会・舞踏会を楽しみ、休日にはアロハシャツで空母ミッドウエーを見学しました。
3. 2019-20年度 国際ロータリー会長テーマは『ロータリーは世界をつなぐ』で、ロータリー活動を大きく変える初年度と位置付けられました。『変化のために柔軟性、多様性を駆使し、しかしロータリーの原点・中核的価値観は不変である』…なかなか難解です。

地区で毎年一人しか経験できない貴重な経験ができ、大変感謝しております。と7分間の報告をまとめられました。

私もひとこと

本質・基底の価値観を認識してみること



不動産鑑定職について今年で16年になりますが、地価は延々と下がり続け、世間の不動産に対する価値観は凋落の一途を辿ってきました。さらに昨今の終活ブームもあって、「不動産なんかいらぬ。お父さん、お願いだから生きているうちに処分しておいてね」なんてぞんざいに扱われる始末…

さて、本当にそれでいいのでしょうか？勿論、不動産に対する価値観は人それぞれでかまいませんが、ここで少し不動産（土地）について基底となるひとつの価値観を挙げてみます。土地の基本理念を定めた土地基本法には、「土地は現在及び将来における国民のための限られた貴重な資源で

吉田総合鑑定経済研究所 吉田 巧君

ある。国民の諸活動にとって不可欠の基盤である。土地は投機的取引の対象とされてはならない。」などと記されています。これは宣言法的な性格の法律ですが、つまり、土地は全ての国民の生活と活動に欠くことのできない基盤であって、国民全体の限りある資産であり、有限の資産として活用されることによって社会経済に発展的な影響を与えるものであると説いています。

少子高齢化、人手不足、消費増税後の情勢等先行きの不透明な時代ですが、不動産に限らず、まずは物事の本質・基底を認識してみることが大切なのではないかと感じております。そこから新たな発見が生まれるかもしれません。